

おくやみ

## 経済同友会 終身幹事の 豊田達郎氏がご逝去されました。 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

トヨタ自動車元社長で、経済同友会では副代表幹事を務めた豊田達郎氏が、2017年12月30日、88歳で永眠されました。

豊田さんは、経済同友会で労働問題委員会やASEAN委員会の委員長などを務め、1992年から1996年まで、副代表幹事として速水優・牛尾治朗の両代表幹事を支えられました。



©トヨタ自動車

### 豊田 達郎(とよだ・たつろう)氏 経済同友会歴

1991年1月	入会
1991年4月～1992年4月	幹事
1992年4月～1996年4月	副代表幹事
1996年4月～2002年4月	幹事
2002年4月～2017年12月	終身幹事

### 主な委員会活動等

1992年4月～1993年4月	労働問題委員会 委員長
1993年4月～1995年4月	ASEAN委員会 委員長
1995年4月～1996年4月	組織部会 部長

## 豊田達郎さんを偲んで

茂木 友三郎 終身幹事 [元副代表幹事]

私は1995年度に経済同友会の副代表幹事に就任し、先輩の豊田さんとは1年だけ副代表幹事としてご一緒させていただきました。しかし、豊田さんは95年の初めに病で倒れられ、理事会や幹事会にもお見えにならなかったと記憶しています。ただ、以前から経済同友会でお会いするたび、いくつかの共通点を感じていました。

まず、豊田さんも私も米国東海岸の大学院でMBAを取得したことです。私は1961年にコロンビア大学で、豊田さんは私より5～6年早くニューヨーク大学で学位を取られました。まだ日本人のMBA取得が珍しかった時代です。留学していた2年間は毎日大変な量の宿題があり、睡眠時間3～4時間の日々が続きました。豊田さんもきっと、同じような厳しい経験をなさったのだと思います。

二つ目は、1924年に学生寮としてニューヨークに設立された国際的な学生支援組織、インターナショナル・ハウスです。豊田さんは留学中インターナショナル・ハウスに住んでおられました。私はコロンビア大学キャンパス内の寮で生活していましたが、

インターナショナル・ハウスの非居住メンバーであり、度々訪れた思い出の場所です。世界各国から集まった留学生といろいろな議論をし、非常に有意義な時間を過ごしました。時期は違いますが、豊田さんも同じ体験をされたはずですよ。

また、豊田さんと私はインターナショナル・ハウスからハリー・エドモンズ賞を受賞したという共通点もあります。この賞はインターナショナル・ハウスを設立したハリー・エドモンズを記念して、異文化交流に貢献した人物を表彰するものです。豊田さんは1990年に受賞され、私は98年に受賞しました。おそらく豊田さんの推薦があつたことだと思います。受賞が決まった後お電話を差し上げたところ、「おめでとう」と言ってくださいました。

もう一つの共通点は、それぞれの会社の米国進出プロジェクトを手掛けたということです。MBAを取得したことで、豊田さんも私も海外事業を担当することになったのだと思います。私は、1973年に完成した当社(キックマン)の米国ウイスコンシン工場建設プロジェクトの責任者



1994年度の通常総会で談笑する豊田達郎氏(左)

を務めました。豊田さんも84年にトヨタ自動車とゼネラルモーターズ(GM)と米国で合弁会社を設立した時の責任者で、その後社長になられました。

日米貿易摩擦の結果、米国に合弁会社をつくることになったのでしょうか。合弁会社のかじ取りは相当大変だったと思いますが、留学時の経験を活かして取り組まれたはずですよ。豊田さんがトヨタ自動車の米国事業の礎を築かれたのだと思います。

豊田さんは強いリーダーシップをお持ちになりながら、一方では静かで穏やかな紳士でした。闘病生活に入られてしまい、新幹線で車いす姿を数回お見かけすることはありましたが、その後お目にかかる機会がなかったのが残念です。

ご病気でなければ、経済同友会でもグローバルな経営者としても、もっとご活躍されたことと思います。心からご冥福をお祈り申し上げます。